

A PAUL BONESTEEL FILM

日本初公開

長編ドキュメンタリー
作品 (2026年・米国)

A LIFE REIMAGINED

THE GEORGE MASA STORY

ジョージ・マサ

— アメリカを変えたある日本人写真家の素顔 —

マサが遺した風景と 彼のもうひとつの人生

その優れた写真技術と自然に対する深い愛情によって
米国東部のグレート・スモキー・マウンテンズ国立公園や
アパラチアン・トレイルの創設に貢献した、ジョージ・マサ。
しかし彼は自身の正体に関する手がかりを何も残さず、
1933年にこの世を去った。

彼の日記や手紙、歴史家や研究者の証言を紡いでいった
先に辿りついた真実とは？

エミー賞®受賞監督 ポール・ボーンスティールが、20年以上
にわたる調査を経て、マサのルーツや移民としての旅路、
そして芸術家としての冒険に関する詳細を明らかにする。

数百点におよぶアーカイブ画像、アパラチア山脈と日本の
山々の雄大な風景と共に、驚くべき歴史の深淵を背景に
展開されるマサの物語が、ついに日本で解禁となる。

North Carolina
humanities

ASHEVILLE

BONESTEEL
FILMS

上映日時 2026年9月25日(金) 18:00~20:30 (17:30開場)

会場 飯山市文化交流館なちゅうら

入場無料 * 受付にてドネーション(寄付)にご協力をお願いいたします*



Google Map

守るべき風景の価値を人々に気づかせた、ある移民の情熱

疑惑や抑圧、故郷からの疎外感、そして過去との断絶に直面しながらも、ジョージ・マサは自ら選んだ山々への情熱と保全活動への取り組みを貫き、アパラチア山脈南部を無慈悲な開発から守り抜いた。本作は、彼の遺した写真と彼が愛した自然の雄大な景色を織り交ぜながら、研究者・記録管理者・写真家・ハイカー・歴史家たちと共に過去と現代を巡る、かつてない旅である。



マサに関する研究 — 短いようで長い物語

ジョージ・マサに関する研究は、彼が亡くなったその日から始まった。親しい友人たちは互いに連絡を取り合い、さらには東京にまで問い合わせを行い、ジョージ・マサが実際にどのような人物だったのかを明らかにしようとした。彼らは手に入れた情報を寄せ集め、それをさまざまな追悼記事に盛り込んだが、それこそが、約70年間にわたりマサの過去について知られていたほぼすべてであった。

“この映画は、好奇心・発見・名誉
そして敬意についての物語だ

— 監督 ポール・ボーンステール

【ジョージ・マサの物語と信越トレイル】

長野と新潟の県境110kmを巡る信越トレイルはアパラチアン・トレイル(AT)をモデルに作られたことから、信越トレイルクラブとAT統括本部のアパラチアン・トレイル・コンサーバンシーは2023年、各トレイルの管理/プロモーション分野における相互支援と交流を推進する事を目的にした「友好トレイル協定」を締結しました。今回、信越トレイルクラブはその取り組みの一環として「カロライナ・マウンテン・クラブ」(ATの整備を担う地域団体)と財団「ジョージ・マサ・ファンデーション」と共に、2024年に行われた当映画のロケーション撮影に協力しました。写真家ジョージ・マサの数奇な人生を紐解くストーリーのなかで、信越トレイルを内包する日本の豊かな里山と、マサがレンズを向け続けたアメリカ東部の雄大な森の風景がオーバーラップし、故・加藤則芳氏のロングトレイルや自然保護に対する想いにも触れられる、この壮大なドキュメンタリーをぜひご覧ください。

A LiFE REIMAGiNED the george masa story

プロデューサー/監督/共同脚本: Paul Bonesteel

原作: 『George Masa: A Life Reimagined』

著者: Janet McCue & Paul Bonesteel

協力: 公益社団法人日本山岳会/星野秀樹/NPO法人信越トレイルクラブ他

後援: アメリカ大使館/飯山市

当作品の詳細情報 (公式HP、英語)

<https://www.georgemasa.com>



当上映に関するお問い合わせ先

NPO法人信越トレイルクラブ事務局

✉ office@s-trail.net

